

保険料の計算例

例

- グループホーム : 2ユニット 18名 (定員9名+定員9名)
- その他介護事業 : 売上高1,000万円
- 事業全体の総売上高: 1億円
- 職員数 : 10名 (出勤者が最も多い日の人数)
- ボランティア : 年間人数 12名

保険料算出方法

1. グループホーム等賠償事故補償制度 (P3参照)

「Aタイプ」に加入の場合

1. グループホーム部分

1ユニット分 2ユニット以降分

26,910円 + 1,600円 × 9名

↑ 2,990円 × 9名

2. その他介護事業部分

14.35円 × 1,000万円

= 保険料 **55,660円** ——①

(1円単位を四捨五入 10円単位)

2. 利用者向け傷害見舞金制度 (P5参照)

定員18名 → 4,200円 × 18名 = 保険料 **75,600円** ——②

〔「通所介護補償」をセットしない場合〕

3. 職員向け災害補償制度 (P6参照)

1名あたり

5,730円 × 10名 = 保険料 **57,300円** ——③

4. 什器・備品損害補償制度 (P7参照)

1事業所 → 保険料 **24,000円** ——④

5. ボランティア向け災害補償制度 (P7参照)

1名あたり

500円 × 12名 = 保険料 **6,000円** ——⑤

6. 情報漏えい補償制度 (P8参照)

年間売上高1億円Aプラン = 保険料 **51,410円** ——⑥

加入例Ⅰ とりあえずホームの賠償資力だけは確保したいという場合は…

↓
「1. グループホーム等賠償事故補償制度」をおすすめします。

保険料① = **55,660円**

加入例Ⅱ 賠償資力だけでなく利用者、ボランティアへの見舞金と合わせて確保し、円滑な事故対応をご希望の場合は…

↓
「1. グループホーム等賠償事故補償制度」

+ 「2. 利用者向け傷害見舞金制度」

+ 「5. ボランティア向け災害補償制度」をおすすめします。

合計保険料① + ② + ⑤ = **137,260円**

加入例Ⅲ 賠償資力、見舞金の確保に合わせ、職員の福利厚生、ホームの什器備品の補償等、万全な補償をご希望の場合は…

↓
「1. グループホーム等賠償事故補償制度」

+ 「2. 利用者向け傷害見舞金制度」 + 「4. 什器・備品損害補償制度」

+ 「3. 職員向け災害補償制度」 + 「5. ボランティア向け災害補償制度」 + 「6. 情報漏えい補償制度」をおすすめします。

合計保険料① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ = **269,970円**

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

【個人情報の取扱いについて】

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社およびMS&ADインシュアランスグループのそれぞれの会社（海外にあるものを含む）が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。ただし、保健医療等のセンシティブ情報（要配慮個人情報を含む）の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含む）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等（いずれも海外にあるものを含む）に提供することがあります。詳細は、三井住友海上ホームページ（<http://www.ms-ins.com>）をご覧ください。